

トーランスと柏の違い

岡部 佑矢（高校2年）

私はこの8月のトーランス派遣を通して、トーランス生と共にお互いの地で楽しみ、学びを深めることが出来た。本報告書ではトーランスと柏やロサンゼルス周辺の他の市との「違い」を述べていきたい。〈トーランスの交通事情について〉まず私がアメリカを訪れ違いを実感したのは車だ。たとえば日本ではアルファードやセレナのような、いわゆるミニバンと呼ばれる車が高速道路にひしめき合っているが、トーランスに19日間滞在していてミニバンが走っているのを1台も見かけなかった。アメリカに来てさまざまな違いを車から感じたので、それをホストファミリーに尋ね、答えを得た。ミニバンがない理由は簡単で、日本車の多くは日本人に向けて作られているからだ。ミニバンは日本人にとっては物をたくさん乗せることができ、便利だが、アメリカ人にとっては狭くてエンジンが非力という点で不人気であり、さまざまな路面状況の存在するアメリカでは車高が高くてパワーのあるSUVが人気になるというわけだ。さらに、向こうで車に乗っていると、そう多くない頻度でバンパーがなかったりするととても綺麗とは言えない車が普通に走っているのを見かけた。日本ではそんな車を見たこともないが、向こうでは普通に走っているのだ。これはカリフォルニア州には車検が存在しないからである。しかし年季の入った車が走っているのは単に整備されていない車を使っているだけなのではなく、アメリカは車が生活の基盤といっても過言ではないため、ものを大切にするといった精神も入っているのかもしれない。日本とアメリカの交通事情を比較するとさまざまな違いがあり、アメリカが車社会であることを感じさせる。

〈トーランスの気候について〉トーランスの気候は穏やかで安定した気温が特徴と言える。年間を通して温暖で降水量が少ないことが特徴である。また、トーランス市は海岸沿いの街なので内陸部の乾燥した気候の影響を受けにくく、非常に過ごしやすい環境である。また緯度が約北緯33°に位置し、日差しはとても強かったが、強いのは日差しだけで、日陰に入れば解決するし、気温も湿度も柏よりよほど住みやすいと思う。このように気候的に見てもトーランスは最高で日系人が多いことに疑問は浮かばなかった。

〈トーランスの教育について〉トーランス市の学校教育は周辺の市と比べると高い教育水準で、UCバークレーなど著名な大学に進学する人も少なくない。トーランス市の学校は日本の学校と比べとても敷地が広い。日本の学校は一つの校舎にさまざまな役割の教室があるが、トーランスの学校は図書館の建物や教室の建物、体育館などの建物一つ一つが間隔を設けて設置されている。また授業内容もグループワークやディスカッションなどが多く取り入れられていて、各々の表現能力や個性を重視している。日本との教育方針の違いが感じられた。



このように、私は車、気候、教育、他にも自然や人、建築や食事など書ききれないほどたくさんの、絶対に訪れないと知り得ない「違い」をこの派遣プログラムで知ることができた。また、違いだけでなく、お互いの文化や価値観を知り、それに触れることで自分の視野を大きく広げることができた。

最後に、私たち柏生のために最高の19日間を用意してくださったTSCAの方々とトーランス生、ホストファミリー、そしてKIRAの皆様への感謝を忘れることはできない。そしてこの経験が無駄にせず、自分の今後に活かしていきたい。